

暮らしをささえた道具

郷土資料館 収蔵品紹介 73

大八車

だい はち ぐるま

江戸時代から昭和時代に、荷物の運送に使われていた車で、木製のがらんじょうな骨組の荷台の左右に大きな車輪がついています。炭や米をつめた俵を始め、石材や木材などさまざまな物を運びました。多くの荷物を運べますが、振動が激しく荷台が平坦なので荷崩れしやすく、曲がり角を曲がりにくい、引き始めが重い、などの欠点がありました。押し手と引き手を合わせて二〜四人で運ぶことが多かったようです。牛にひかせることもありましたが、二輪のほかに、江戸時代には重い荷物でも前後のバランスが保ちやすい四輪のものもありました。



大八車は、大正時代になると自転車の後部荷台に連結して使うリヤカーや馬車、トラックに取って代わられました。

名前の由来は、「一人で八人分の仕事ができる(代八車)」から、「荷台の大きさが八尺(約二、四メートル)あった」からなどいろいろな説があります。

坂祝町郷土資料館(JAめぐみの坂祝支店3階)の
次回の開放日は、令和二年六月十二日(金)(午後一時から三時まで)です。ぜひご覧ください。

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

梨の花テニスコートへ弾みけり	岡本 憲子
花の雲白帝城を染め上げり	岡本 憲子
コロナ菌終息見えず桜咲く	岡本 憲子
犬ふぐり言はれなき名を背負咲く	田口 孝和
山道を白に染めゆく梨の花	田口 孝和
春風の吹きぬけ通る寺の門	長瀬 静子
一村の段々畑や梨の花	長瀬 静子
陽をあみて網棚匂ふ梨の花	安藤 文子
梨棚をひと巡りせし夕明り	安藤 文子
暮れ際の風はうすべに花真白	兼松 禎子
ゆるやかにもつる蝶へ陽の賛歌	兼松 禎子

坂祝町の情報をお届けしています!

さかほぎなう!
パーソナリティ: 小栗かおる
毎月第三火曜日
18時~18時20分

次回ゲストは、坂祝町役場新入職員の皆さまです。お楽しみに!

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
FMららアプリダウンロード QRコードはこちら。

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

三石三 おくやみ
品原品 敏
紀辰敏 子男
美子様 様様
子様 (取組) (取組)
様 (酒倉) (倉庫)
75歳 81歳 73歳

6月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・水・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。
※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



不燃ごみ等収集日 23日(火)
缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 21日(日)
時間: 8時から10時
場所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池